

2020年10月8日
日本生命保険相互会社

国立大学法人東京大学が発行するソーシャル・ボンド
「東京大学FSI債」への投資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、国立大学法人東京大学（以下「東京大学」）が発行するソーシャル・ボンド（以下「当債券」）に投資しました。国立大学法人による公募債での調達ならびにソーシャル・ボンドの発行として、いずれも初の事例であり、当社にとっても初めての投資となります。

当債券による調達資金は、SDGsの達成に資するさまざまな研究教育プロジェクト（FSI※事業）に充当され、「ポストコロナ時代の新しいグローバル戦略を踏まえた研究」にかかる最先端大型研究施設の整備や、「安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現」に向けたウィズコロナ・ポストコロナ社会に適したキャンパス整備等に活用される予定です。

当社はこれまで、SDGs達成に向けて、東京大学の各種機関協力のもと、「人生100年時代」を生きるお一人おひとりが「安心して・自分らしく」過ごすことができる社会づくりをサポートする『^グラ^ン ^{エイ}ジ プロジェクト』や、「子育てと仕事の両立可能な社会の実現」に向けた企業主導型保育所に関する共同研究などの取り組みを進めてまいりました。

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資するESG投融資を積極的に実施しており、当債券への投資もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、ESG投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

※FSI（Future Society Initiative:未来社会協創）：

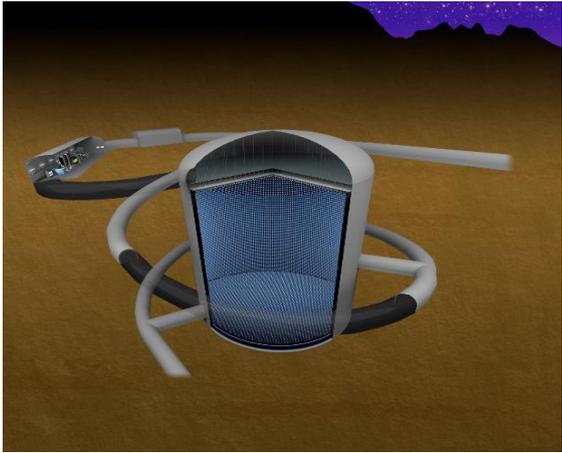
教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること

（「FSI」、「未来社会協創」は、いずれも東京大学の登録商標です）

<本債券の概要>

銘柄	第1回国立大学法人東京大学債券
年限	40年
当社投資額	18億円

<当債券の資金使途候補>

区分	事業名
<p>ポストコロナ時代の新しい グローバル戦略を踏まえた研究</p>	<p>【ハイパーカミオカンデ計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイパーカミオカンデ検出器（素粒子「ニュートリノ」の精密観測などを実施する装置）を建設 ・既存の「スーパーカミオカンデ」を凌駕する大型検出器の建設で、素粒子と宇宙に対する知見を大きく広げることを目指す  <p>『画像提供：ハイパーカミオカンデ研究グループ』</p>
	<p>【東京大学アタカマ天文台(TAO)計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界最高標高に光赤外線望遠鏡 TAO を設置し、大規模観測を含めた全国共同利用研究を実施  <p>『画像提供：東京大学 TAO プロジェクト』</p>
<p>安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現</p>	<p>キャンパスのサイバー化／スマート化</p> <p>ウィズコロナ、ポストコロナ社会に適合した施設の整備・改修</p> <p>キャンパス用地の取得</p>

<今回の案件と関係の深い SDGs 目標>

目標4：質の高い教育をみんなに

すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。



目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る。



以 上